

琉球・沖縄  
年中行事 Q&A

知っておきたい!  
トートメーの専門用語①

トートメーの「ハラコセキ」

私の祖父は、「ハラコセキ上等」とよく言っていました。最近小孫の占い師からも、「あなたの家のトートメーはハラコセキだからウヤファージが見守ってくれている」と褒められていたました。あらためて、ハラコセキのトートメーって何ですか? (那覇市・Aさん 60代)

沖縄のしきたりの「ハラコセキ」は、漢字に置き換えると「腹戸籍」にな

ります。同じ読み方にも、法律用語である「原戸籍」(正式には「改戻原戸籍」)があります。これは異なるので注意が必要です。腹戸籍の腹には、お母さんのお腹(なかの中)「胎内」という意味があり、ムンチューバカ(門中墓)で多く見かける、カミヌスクバカ(亀甲墓・胎内墓)も、腹の文字を使用し、「ハラバカ(腹墓)」といわれることがあります。

ハラコセキのハラは、腹「胎内」の意味から、赤ちゃんがお母さんのお腹の中で守ら

れている状態を表し、心安らな所、癒しの泉などの解釈があります。専門的には、この根源(原点)・間接などと言ったことでもできます。また「戸籍」は、ウヤファージのお名前が書かれているトートメーの木札のこと。つまり腹戸籍は、お母さん(ウヤファージ)に守られているお位牌(トートメー)・または、当座、大々な問題(チャウデーカサバイ(兄弟重合)などの禁忌)がないお位牌を指すことが多く、理想的(原意)なトートメーのことをいいます。言い換えれば、長男を中心とする、

家系図どりのトートメーということなのでしょう。ハラコセキのトートメーは「Aさん家の先人のジンブ(知恵)やご苦労があったものの、私たちが一代で成し得ることができないものです。ぜひ、感謝のお気持ちにてせむ、今後とも大切にお敬いいただければと存じます。



1930/傳依龍樹

トートメーの「ワビスコー・サビスコー」

近所のムヌシリ(徳知り)のおばさんから、「あなたが結婚したのは、先祖へのウグワンスクが原因だから、トートメーにワビスコーしなさい」と注意されました。ワビスコーを確認すると、お詫びしながら、なぜ「トートメーに謝罪しないといけないのですか? (名護市・Hさん 40代)

沖縄のしきたりのワビスコーのことをムヌシリのおばさまがおっしゃる。お詫びしながら検査すると理解する方々、専門の先生方も多く見受けられます。それはそれで、詫びという漢字でいいのかな? とは思いません。でも、沖縄のしきたりにはウヤファージに対し、詫びる習慣がないことも記憶に留めていただきたいところですよ。

よく、ウグワンスク(御願不足)から、「タタリ(祟り)・バチ(罰)が当たると」という方がいられますが、トートメーウヤファージは、トートメーバチを当てることはありません。威嚇や恐怖を与えることありません。ワビスコーは「詫び」とよく似ている漢字の「詫び」を用い、「詫び焼香」と訳すのが専門的です。詫びとは、茶道などで用いる、ワビスビの文化を表し、美しい、サビい・奥ゆかしい、美しい、サビい・無常・悟りなど、このような意味から、トートメーの表面にささを形容するとして

用語となり。故に、ワビスコーは、単独で使用する言葉ではなく、ワビスビと同じく、ワビスコー・サビスコーと双方をワンセットで使用することで知られています。

Hさんには、ワビスコー・サビスコーのお言葉を中心の支えとし、今後トートメーを大切にされ、これからの輝かしい人生をしっかりと歩んでいただければ幸いです。

Hさん、離婚の選択は「一大決心をしたね(新婚となる人の門出心より応援いたします)」ことも、ワ

びる習慣がないことも記憶に留めていただきたいところですよ。



1930/傳依龍樹

